

景観形成に向けて

景観形成とは、それぞれの地域に生活する人々が自らの手で、地域の特性を掘り起こし守り育てるとともに、時代の変化に対応した新しい景観を創造しながら、優れた景観を未来へ引き継いでいくことです。

今後の東京都における景観形成にあたっては、都、区市町村、都民及び民間事業者等が、それぞれの立場において、互いに協調し連携しあって、より良好な景観の形成につとめていくことが大切です。

都の役割

都は広域的な視点から景観形成をすすめるため、東京都全域を対象として、次のような長期的、総合的な施策を展開していきます。

- 景観基本軸において積極的な景観形成をはかるため、その指針となる景観基本軸の景観形成基本計画を策定し、区市町村と連携して積極的に事業をすすめます。
- 大規模開発、歴史的建造物などの景観拠点について、景観形成ガイドラインを策定し、景観の誘導をはかります。
- 区市町村における景観形成をすすめるため、区市町村景観マスタープランの策定や景観形成事業に対して支援を行います。
- 全都的な景観づくり運動を展開するため、「美しい景観をつくる都民会議」において、都市景観に対する意識の醸成と合意の形成をばかっていきます。
- 都民及び民間事業者の皆様への、普及啓発の推進につとめます。

区市町村の役割

区市町村景観マスタープランの策定や景観形成地区の指定につとめ、地域特性を生かした景観形成の多様な施策をすすめます。

都民に望むこと

自らの生活を取り巻く景観への関心を高め、より豊かな景観づくりにつとめるとともに、地域に根ざしたさまざまな景観形成活動を展開していくことが望まれます。

民間事業者等のめざすこと

計画や事業の実施にあたり、周囲の景観に十分に配慮するとともに、企業活動を通じて地域の景観づくりに積極的に寄与することを期待します。